

東日本大震災から10年

震災の教訓

# 未来へつなぐ震災の記憶

私たちは東日本大震災でたくさんの大切なものを失ってしまいました。

しかし、私たちは数々の困難を乗り越え、復興の道を進んできました。

あれから10年。

いつ起こるか分からない災害に備えて、

私たちに今できることは何でしょうか。

## 東日本大震災

### あの日の記憶

2011・3・11。あの日の

出来事は、今も私たちの心から  
離れることはありません。

東日本大震災の発生から間も  
なく10年。あの日、東北地方の

# 津波の高さ7.6m

## 東日本大震災による市内の被災状況

(令和3年2月1日現在)

人的被害(人)		住家被害(世帯)							
死者	行方不明者	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計	床上浸水	床下浸水	液状化
14*	2	336	434	512	2,546	3,828	677	277	774

※震災関連死1人を含む。

津波による浸水区域 380ha

津波の遡上を防ぐために造られたフラップゲート

三陸沖を震源に、マグニチュード9.0の巨大な地震が日本列島を大きく揺さぶりました。

旭市でも地震や津波、液状化現象による被害が広範囲で発生し、その悲惨な光景は私たちの想像をはるかに超えるものでした。中でも津波による被害は甚大で、13人の尊い命が犠牲になりました。浸水域は市内で380haに及び、多くの家や会社なども津波に飲み込まれ、家財道具や家族との思い出の品など、たくさんの大切なものを私たちが奪ってしまいました。

## 震災の経験を 生かすには

大きな被害を目の当たりにした私たちは、一人では超えられないたくさんの困難を経験し、防災に対する意識を大いに高めました。

東日本大震災から多くのことを学んだ私たちは、震災を検証し対策を考え、次の世代が安心して暮らせるまちづくりをしていかなければなりません。同じ悲劇を繰り返さないためにも、震災の記憶を風化させずに、伝えていくことが必要です。